

## 《学校法人亨栄学園 鈴鹿中学校・高等学校》

所在地:鈴鹿市 業種:教育学習支援業 従業員数:約170人(男性約120人・女性約50人)(非正規従業員含む)

### 「少子化をストップするために、まず職場での支援を」

学校経営の立場から、次世代育成の重要性は理解し、実践していますが、学校内で働く教職員に対する支援についても積極的に推進しています。

#### 【育児休業取得状況】

H17年度～H19年度:女性6人、男性1人

#### 《育児休業者の声》教諭 育児休業期間:4ヶ月

妻が就職したばかりで育児休業がとれなかったため、自分が子どもの世話をする必要があり、育児休業の申出をしました。育児休業中は育児と家事の両立ができるように心がけました。また、取得してみて、復職後の育児も大変だということがよくわかりました。実家の両親の協力が不可欠でした。復職後も育児が続くという当たり前のことを社会にも理解して欲しいと思います。育児休業を取得して、我が子と接する時間が増えたことは理屈抜きで幸せを感じました。

#### 《上司の声》教頭

少子化の中で、学校としては多くの生徒に入学してもらいたいと思っていますが、まずは職場の環境づくりの向上を目指しており、今回、育児休業をした担任教師についても、学校としても応援していきたいと思いました。家庭により、様々な事情を考慮して、男女どちらでも育児休業等が取得できる環境づくりを今後も行っていきたいと思っています。



- 小学校第3学年修了までの子を養育する労働者が利用できる短時間勤務制度を労働協約又は就業規則に規定し、労働者がこれらの制度を連続して6か月以上利用した場合に、事業主に対する助成金制度があります。
- 代替要員を確保した場合の事業主に対する助成金制度があります。
- 休業者がスムーズに職場復帰できるよう、職場適応性や職業能力の維持回復を図る措置(職場復帰プログラム)を実施した事業主に対する助成金制度があります。
- 男性の育児参加を促進するモデル的な取組を実施した事業主に対する助成金制度があります。
- 両立支援制度を利用しやすい職場環境の整備を計画的に行った事業主に対する助成金制度があります。

**これらの助成金は育児・介護雇用安定等助成金(両立支援レベルアップ助成金)です。詳しくは(財)21世紀職業財団三重事務所(電話059-228-2300)へ。**